

ファッション甲子園 2016 準優勝校 柴田女子高等学校（青森県）
副賞 {アマゾン・ファッションウィーク東京 派遣・招待} H29.3.20(月)～3.21 (火)

【小山内 沙亜良さん】

①第十六回大会について

今回、本校から初めてファッション甲子園に出場するというので、私はとても嬉しいという気持ちの反面、とても緊張していました。一次審査を通過した時点では、モデルは決まっておらず、作品テーマである「モダンな花魁」のイメージに合う、モデル選びから始めました。審査当日までに、自分が思い描く作品になるよう何度も思考を重ね、チーム一丸となって取り組みました。審査当日は、本番前に何度もアピールポイントの原稿を読み返し、緊張しながらも多くの観客の前で発表することができました。大会終了後の交流会では、審査員の方々に講評をいただくことで、沢山のことを学ぶことができました。一夏の思い出として、このファッション甲子園に出場出来たことは、良い経験として心に残っています。

【工藤 桃夏さん】

①第十六回大会について

私が、ファッション甲子園に出場をして一番嬉しかったことは、大会史上初の快挙である、準優勝、ガッツダイナマイトキャバレーズ賞(審査員特別賞)、観客賞、キラリ賞の4つの賞を受賞したことです。特に、準優勝を獲得できたことにとっても驚きました。結果発表の時にもおっしゃっていましたが、「ここ最近、見たことがない作品」と賞賛して下さい、毎日大変だった日々も、この一言を聞いたとき、報われた気持ちになりました。このような経験は、なかなか出来ないことなので、ファッション甲子園に出場することができて本当に良かったです。

【小野 香純さん】

①第十六回大会について

私は、ファッション甲子園に初めてモデルとして出場し、沢山の経験をさせていただきました。先輩方と一緒に、ウォーキングについて話し合い、どの位置でどんなポーズをするか、歩き方はもちろんのこと、目つきや指の動きなど細かく考えました。ヒールが17cmとかなり高いこともあり、家に持ち帰っては何度もウォーキングの練習をしました。結果は、準優勝を含む4賞を受賞でき、とてもいい経験が出来ました。

②アマゾン・ファッションウィーク東京について

ファッション甲子園で、準優勝をとることができたので副賞として、アマゾンファッションウィークに招待されました。1番印象に残っているショーは、最前列で観ることができたコシノヒロコさんのショーです。今回のように、最高の場所で、一流のデザイナーの方のショーを間

近くで観る経験はあまりできないことだと思うので、とても勉強になりました。

このような機会に恵まれ、たくさんの経験をさせていただきましたことを、今後の進路に活かしていきたいと思います。

【随行・担当教員 田中 涼子さん】

②アマゾン・ファッションウィーク東京について

私が一番印象に残っているファッションショーは、コシノヒロコさんです。前列のとても良い席で観ることができ、とても感動しました。作品の素晴らしさはもちろんのこと、それに付随する音響、会場の設定など、間近でその空気感を感じることができ、とても良い経験となりました。このような素晴らしい経験が出来たのも、審査委員長の大塚先生のご尽力もあってのことだと思っており、大変感謝しております。ありがとうございました。

出発時は、新幹線のトラブルなどもありましたが、1泊2日の研修の中で、コシノヒロコさんをはじめとする、沢山のデザイナーのショーを間近で観ることができ、このような貴重な体験をさせて下さりまして、本当にありがとうございました。